

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年2月13日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	熊本県宇城市	代表者名	守田 憲史
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0964-32-1803
担当者役職		担当者氏名	
住所	869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	マイナンバーカードの制度や利活用の方策について、自身の経験を踏まえ、わかりやすく説明をいただいた。また、おくやみ窓口についても具体的な事例を詳しく説明いただいたため、参加者の評価も上々であった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2020年2月5日	13時00分	17時00分		240
3-2. 派遣場所	会場名	宇城市役所		最寄駅	松橋駅
	所在地	宇城市松橋町大野85			
	最寄駅からの交通手段	自動車			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	12人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	人手不足、財源不足、場所不足といった課題をどのような方法で解決できるか。ほかに効率的なやり方がないのか。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	マイナンバーカードの利活用に関する組織体制、推進体制の構築とスムーズな情報共有のための会議の開催。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許センターへのチラシの配布など具体的な事例 図書カードの活用は貸し出しの方法に依存 民間といかに協力してやれるか 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの申請、交付等全般的な見直しが必要 マニュアルの作成 ブースの設置場所等、現段階での問題点の掘り起こし 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> ブースの設置場所等、現段階での問題点の掘り起こし 	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>開催時期、研修内容、アドバイザー、開催時間 (研修時間) の基本項目において、開催時期を除く項目については満足との回答が多かった。開催時期の設定にあたっては庁内調整が必要。詳細は添付のとおり。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	マイナンバーカード交付円滑化計画に沿った交付の専門的な部署の設置	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年2月13日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	熊本県宇城市	代表者名	守田 憲史
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0964-32-1803
担当者役職	参事	担当者氏名	中山 健太
住所	869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	マイナンバーカードの制度や利活用の方策について、自身の経験を踏まえ、わかりやすく説明をいただいた。また、おくやみ窓口についても具体的な事例を詳しく説明いただいたため、参加者の評価も上々であった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2020年2月6日	9時00分	15時00分	60	300
3-2. 派遣場所	会場名	宇城市役所		最寄駅	松橋駅
	所在地	宇城市松橋町大野85			
	最寄駅からの交通手段	自動車			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	12人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	人手不足、財源不足、場所不足といった課題をどのような方法で解決できるか。ほかに効率的なやり方がないのか。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	おくやみ窓口を検討する内部の協力体制の構築	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> おくやみ窓口の設置だけでは不十分。各課への案内をしたほうが合理的 部会等は作らず、総合政策課が主体となって実施 おくやみ手続き中の方は青ファイルで統一 プライバシーの配慮のため、音を消す仕組みの導入や執務室のパーティション設置 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの申請、交付等全般的な見直しが必要 マニュアルの作成 ブースの設置場所等、現段階での問題点の掘り起こし 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> ブースの設置場所等、現段階での問題点の掘り起こし 	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>開催時期、研修内容、アドバイザー、開催時間 (研修時間) の基本項目において、開催時期を除く項目については満足との回答が多かった。開催時期の設定にあたっては庁内調整が必要。詳細は添付のとおり。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

